

「近畿圏の目指す姿」およびそれを実現するための
戦略及び事業・制度のアイデア
(参考図表)

本資料は、「資料1 近畿圏の目指す姿(案)」および「資料2 戦略及び事業・制度のアイデア」の参考資料として作成したものです。なお、例示としていくつかの具体の事業名も記載させていただきました。

平成19年10月22日
第3回近畿圏広域計画検討会議

近畿圏広域地方計画の概要

1

近畿圏の特性

- 長い年月の間、多様な文化を創造し続けてきた歴史的風土
- 伝統工芸から、素材製造・部品加工・先端IT・ソフト等まで多様な産業集積（高い経済ポテンシャル）
- アジアとの密度の濃い人的・経済的繋がり
- 関空24時間化、スーパー中枢港湾・阪神港
- 山地と平野・盆地が連続した独特の地形（都市と自然の近接）
- 行政界を越えて広範に市街地が連続する京阪神都市圏
- 琵琶湖の水環境対策など、苦労しながら環境と共生してきた歴史
- 他圏域より早い少子高齢化
- 阪神・淡路大震災の経験、迫る東南海・南海地震の脅威
- 「民」主導による地域づくりの歴史

近畿圏の目指す姿

1. 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域
2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核
3. アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点
4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域
5. 都市的魅力と自然的魅力を日常的に享受できる圏域
6. 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域
7. 暮らし・産業を支える災害に強い安全・安心圏域

戦略（例）

- 何事にも高品位の本物にこだわる近畿圏の基本姿勢を定めた「(仮称)近畿ブランド憲章」の策定
- 近畿圏全体の共同プロモーション（「(仮称)関西領事館」の設置など）
- 近畿圏各地をシームレスに繋ぎ総合的な経済力の発揮
- ハード・ソフトの整備、横の連携改善によるドアtoドアのトータル時間・トータルコストの削減
- 関空24時間運用を活用したアジア・ビジネス交流の活性化
- 近畿圏全体の環境目標値を設定し、圏域全体でマネジメント
- 広域生活圏の中心都市への都市機能の集積 + 周辺地域との交通ネットワーク化
- 緊急輸送道路など、防災対策の着実な推進
- 関係する複数の主体の連携による広域防災計画の策定

1. 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域

現状・背景

- ・長い年月をかけて多様な文化を創造・継承・蓄積
- ・多くの歴史・文化資産
- ・多様性と厚みを兼ね備えた細やかな伝統工芸・生活・食・風土・眺め

近畿の目指す姿

- ・多様な文化を創造・継承・蓄積してきた日本のアイデンティティの象徴圏域となる
 - ・本物にこだわる伝統を踏まえ、新たなまちづくり・ものづくり・人づくりにおいても新たな本物を創造する圏域となる
 - ・個性豊かな各地域の集合体として、近畿圏と隣接を含めた地域全体で世界に誇れる歴史・文化圏域となる
- 「本物」を活用したビジネスモデル「関西ブランド」「日本ブランド」を展開する

地域固有の資源を核にパッケージ化した地域づくり

京都市（例）

京都の歴史・文化を、京都人の生活、先端産業の海外との企業活動にまで絡め、京都のブランド価値が成立。

産寧坂の町家は既存不適格ではあるが、世界遺産の清水寺を支える一連のゾーンとして成立。



清水寺



産寧坂

コウノトリと共生するまちづくり（兵庫県・豊岡市）

地域住民や企業がコウノトリの保護増殖に取り組みとともに、産業戦略にも活かしている。



コウノトリ

- ・農薬を使用しない環境に優しい農法の実践
- ・ドジョウ・カエル等の繁殖のため、休耕期にも湛水



アイガモ稲作

- ・コウノトリを育む農法で栽培された米・酒が急激な出荷増。



- ・太陽電池など環境産業の誘致。
- ・環境都市の産物として地場のカバンを海外でもPR。



地域が一体となった観光地域づくり

熊野古道（例）



500m毎に、進行方向や番号等を付した標柱を設置（ローマ字も併記している）



地域住民による景観整備（植林）



地域住民をガイドとして養成

戦略・事業・制度等(アイデア)

本物に関する共通目標の確立

“本物へのこだわり”を近畿圏共通の基本姿勢として、「(仮称)近畿ブランド憲章」としてルール化

地域毎の基本理念に基づき、個性ある地域づくりを展開

「(仮称)近畿ブランド憲章」の制定

- 何事にも高品質の本物にこだわる -

ものづくり

まちづくり

ひとづくり

地域毎に“地域づくりの共通理念”を設定

ローカルルール等の適用により、
個性あるこだわりの地域づくりを展開

「関西ブランド」・「日本ブランド」の確立

- 本物志向の人に信頼される圏域 -

歴史・文化資産の保全・継承・活用

歴史的記念事業を契機に文化財の復元や街並みの整備を実施

歴史的な景観を活かした地域づくりを展開

伝統技術の継承

新たな本物の創造

固有の資源を核とした地域ブランド力の向上

伝統文化やものづくりを体験できる機会を提供

広域観光・国際観光圏域の形成

共通の観光戦略に基づき、国際観光圏域を形成

海外主要都市への共同プロモーション拠点の設置

圏域内外の観光資源の連携

遠隔の観光地への高規格幹線道路の整備

海外も含めた交通機関での共通ICカードシステムの構築

観光施設の多言語表示の充実

2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核

現状・背景

- ・古くから日本の経済を牽引し、現在でも個性の異なる都市が競争
- ・人口、経済力、情報、知的財産などにおいて相当の集積

近畿の目指す姿

- ・多様な基礎ポテンシャルを有機的に繋ぎ、文化、暮らし、産業が息づき、生活の豊かさ実現するもう一つの中心核となる
- ・多様で厚みのある文化の集積を活かして、我が国における「文化首都」としての役割を担う圏域となる
- ・非常時の首都圏のバックアップを担う圏域となる

中心核の一翼を担いうるポテンシャル

高度かつ多様な集積を活かし、それらをネットワークでシームレスに繋ぐことで、もうひとつの中心核を形成する。

多様な産業

- ・先端産業
- ・素材産業
- ・ものづくり基盤産業
- ・独自技術を持つ「オンリーワン企業」

大学・研究機関

- ・京大、阪大、神大、・・・
- ・関西学術研究都市、ポートアイランド、彩都、Spring-8、・・・

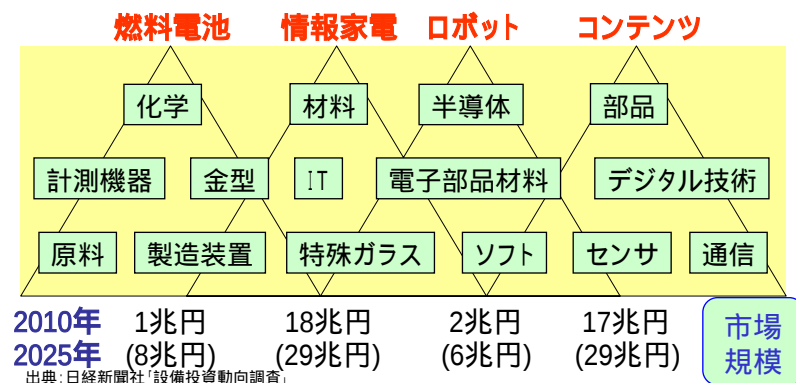
空港・港湾

[関西3空港]

- ・関西国際空港
- ・大阪国際空港
- ・神戸空港

[特定重要港湾]

- ・大阪港
- ・堺泉北港
- ・神戸港
- ・姫路港
- ・和歌山下津港



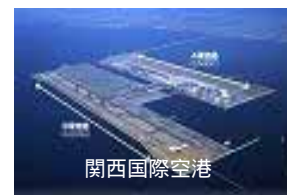
首都圏のバックアップ

自然災害や有事などの非常時に、

国家機能の維持により
素早い復旧・復興

経済中枢機能の維持により
わが国経済活動の停滞を阻止

我が国の経済機能の維持により
世界経済への悪影響を回避



戦略・事業・制度等(アイデア)

経済力と情報発信力の強化

経済的基礎ポテンシャルのシームレス化による経済力の強化

新技術を活用した新たな情報発信システムの構築

- ・次世代産業の発展には、多様な産業により成立。
- ・関西には多様な産業集積あり(ポテンシャル)。
- ・しかし、都市内の混雑等が経済発展のネック。



**圏域内の各種機能を
シームレスに繋ぐ高速
交通網の整備が重要。**

- ・ミッシングリングの解消
など

大阪都市再生環状道路



文化首都の形成

文化施設の設置及び文化に関する機能の強化

歴史的記念事業を契機に日本文化の情報発信

多様な地域の連携強化

個性の異なる地域をシームレスな交通ネットワークで接続

圏域全体での課題に対しての意思決定・推進体制の構築

首都圏のバックアップ機能の確立

金融・通信などの中枢機能が継続できる体制の整備

3. アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点

現状・背景

- ・世界有数の家電関連産業、医薬品等のバイオ産業の集積
- ・アジアとの歴史的な繋がり
- ・ものづくり基盤技術を有する企業や世界最高水準の大学・研究機関の集積

近畿の目指す姿

- ・エンジン産業として次世代・クリエイティブ産業を位置付け、ものづくり技術を有する企業はじめ関西の全産業を牽引する
- ・陸・海・空の人流・物流の総合交通ネットワークの確立したアジア・ゲートウェイを担う圏域となる
- ・質の高い人材の育成・創出や、アジアをはじめ世界の人材が密度の高い交流を展開し、イノベーションを創出する

産業の創造拠点

アジアとの水平分業の展開

ドアtoドアのトータル時間・トータルコストを削減



ハード・ソフトの整備、横の連携改善

[手続きの簡素化]

- ・大阪湾諸港の **ポートオーソリティ化**

[物流施設の機能強化]

- ・夢洲ロジスティック・コンプレックス構想

[交通円滑化]

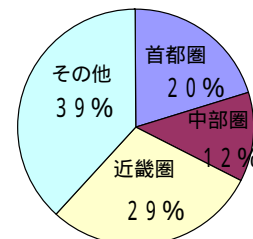
- ・高速道路網の整備(ミッシング・リンク) など

国際交流拠点(人材育成・研究開発、文化、情報、・・・)

長い歴史の中で培った
アジアとの強い繋がり

- ・遣隋使、遣唐使の時代から
東アジアとの交流が盛ん。

アジア人の圏域別シェア



アジアのうち中国・韓国・朝鮮の割合を示す。

大阪・御堂筋

- ・アジアとの緊密な繋がり、信頼性、おもてなしの心により、アジアの富裕層を対象とした世界の高級ブランドショップの一大拠点を形成している。
- ・カルティエは、世界最大の店舗を出店。
- ・その他にも、世界の一流ブランドがアジア最大規模の店舗を出店。

アジア太平洋地域に関する研究機関(構想)

- ・アジア・太平洋地域のあらゆる情報を集めた拠点をつくる。(類似例.パリのアラブ世界研究所)
- ・エネルギーや環境、食料などの分野のアジアの若い研究者を集める。

戦略・事業・制度等(アイデア)

圏域のエンジンとなる京阪神都市圏の産業活性化と活用

産学官の連携による次世代産業やクリエイティブ産業の育成

スーパーコンピュータの開放による優秀な研究者や企業の集積

中小企業の活動環境の整備

大阪湾ベイエリアの土地利用の有効活用

アジア・ゲートウェイを担うシームレスな物流ネットワークの構築

関西の主要な拠点を結ぶ陸・海・空のネットワーク整備による
トータル時間・トータルコストの低減

大阪湾ベイエリアにおける新たな大規模物流拠点の整備

ポートオーソリティの設立による物流コスト、リードタイムの低減

国際物流戦略チーム

産学官で、港と港、港と道路、港と空港の連携等について取り組み、国際物流の効率化を通じた関西経済の活性化を目指す。

【港と港の連携】

- ・スーパー中枢港湾プロジェクトの推進
- ・手続きの一元化、IT化
- ・一開港化
- ・入港料の低減、港湾の広域管理等
- ・海上輸送の連携

【港と道路の連携】

- ・高規格道路の整備等

【海港と空港の連携】

- ・深夜貨物便の推進
- ・Sea & Air輸送

創造性豊かな人材の育成・交流拠点の形成

関空24時間の活用による国際ビジネス交流拠点の形成

アジア太平洋地域に関する研究機関の設置による国際交流の促進

奨学金制度や就職支援制度の拡充による留学生・研究者の集積

関空からの国際航空ネットワーク

(31カ国・地域、71都市、776便/週)



出典: 関西国際空港株式会社HPをもとに作成

注: 赤線は概ね片道3.5時間圏 = 日帰り圏

4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域

現状・背景

- ・琵琶湖の先進的水環境対策、地球温暖化京都会議や世界水フォーラムの実施、コウノトリとの共生などの環境面で先進的な取り組み

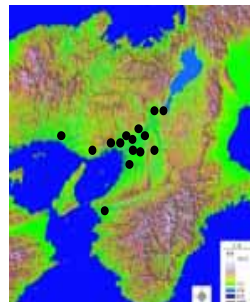
近畿の目指す姿

- ・圏域全体で豊かな自然環境の保全・再生や地球温暖化防止などのマネジメントを行い、環境先進圏域となる
- ・環境関連産業や研究機関の集積を活かし、地球環境問題の解決に向け、世界に貢献する圏域となる
- ・流域圏を一体と捉え、水循環の管理体制の構築と、近畿圏全体で廃棄物リサイクル等を行い、循環型社会を実現する

自然と共生してきた近畿

都市と自然の近接

- ・近畿独特の地形（山と平野・盆地の繰り返し構造。海・琵琶湖）
- ・それぞれの平野に都市が高度集積



注：●は人口30万人以上の市を示す（H17国勢調査）

先進的取り組み

- ・地球温暖化防止京都会議（COP3）
- ・世界水フォーラム
- ・粉せっけん「びわ湖」

環境に関する課題

- ・R43訴訟 など



琵琶湖における主な環境関連事項

- 1950年 琵琶湖が我が国初の国定公園に指定
- 1959年 クロステリウム大繁殖で京都市水道で濾過障害
- 1960年 農薬PCPで魚・シジミ被害
- 1962年 農薬PCPで業界類の被害4億円に
- 1963年 北湖一円にコカナダモ繁茂
- 1968年 米原町でアンチモン公害発生
- 1969年 琵琶湖にカビ臭発生
- 1970年 京都・大津・大阪の水道で異臭（約400件の苦情）
- 1977年 ウログレナ赤潮大発生
- 1978年 「びわ湖を守る粉石けん使用推進県民運動」県連絡会議結成
- 1979年 「琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」公布

↓
現在に至る

「滋賀の環境2007」をもとに国土交通省作成

環境技術で世界に貢献

公的機関

（財）地球環境産業技術研究機構（RITE）
国連環境計画 国際環境技術センター など

企業

太陽電池：シャープ、京セラ、三洋電機、…
燃料電池：三洋電機、松下電器産業、…
水素エネルギー利用技術：
大阪ガス、岩谷産業、神戸製鋼所、
川崎重工業、日立造船、…
環境分析・計測機器：
島津製作所、オムロン、…

戦略・事業・制度等(アイデア)

圏域全体での環境対策のマネジメント

広域で処理すべき環境問題を圏域全体でマネジメント

市民や企業が環境負荷の少ないライフスタイル・経営モデルへの転換がしやすい環境の整備

廃棄物リサイクル等の循環型社会の構築

広域連携のもとに大阪湾フェニックス計画や廃棄物の3Rの推進

食品残渣を再資源化する循環システムの構築

バイオマスの利活用促進

自然との共生の推進

公共事業等の地域開発時の自然環境への徹底した配慮

官民共同による水と緑のネットワークの形成

健全な水循環の管理

琵琶湖・淀川流域圏や大阪湾の生態系や水循環の総合的管理

環境技術での世界貢献

近畿圏の環境技術を世界に発信

バイオ・エタノール・ ジャパン・関西 (堺市)

・日本初の木質バイオマス資源からバイオエタノールを製造する施設



出典: バイオエタノール・ジャパン・関西株式会社(堺市内)HP

圏域全体で環境マネジメント

「マスタープラン」の策定

- 圏域全体の環境負荷量の目標値を設定 -

CO2排出

水質汚濁

産業廃棄物 等

「実行プログラム」の策定

環境対策での国際貢献

・環境技術のイノベーション
・環境にやさしい社会システム、
ライフスタイルの提案

「世界的環境先進圏域」の確立

5. 都市的魅力と自然的魅力を日常的に享受できる圏域

現状・背景

- ・都市と自然が近接(独自の地形) ・都市・農山漁村・自然が適度に分散
- ・都市的魅力と自然的魅力の双方を同時に享受できる恵まれた条件

近畿の目指す姿

- ・都市と自然との近接性を活かし、二地域居住などの多様なライフスタイルを提供できる圏域となる
- ・大都市部は、国際ビジネス機能や生活消費・都心居住機能等を発揮し、周辺地域をリードする圏域となる
- ・地方部は、中心的な都市を核として周辺地域と連携することにより持続的に発展する広域的な生活圏を形成する
- ・農山漁村は、多面的機能を十分に発揮させるための整備と保全を図り、持続可能な地域社会を形成する

都市と自然が近接した近畿独自の地形

多様な自然

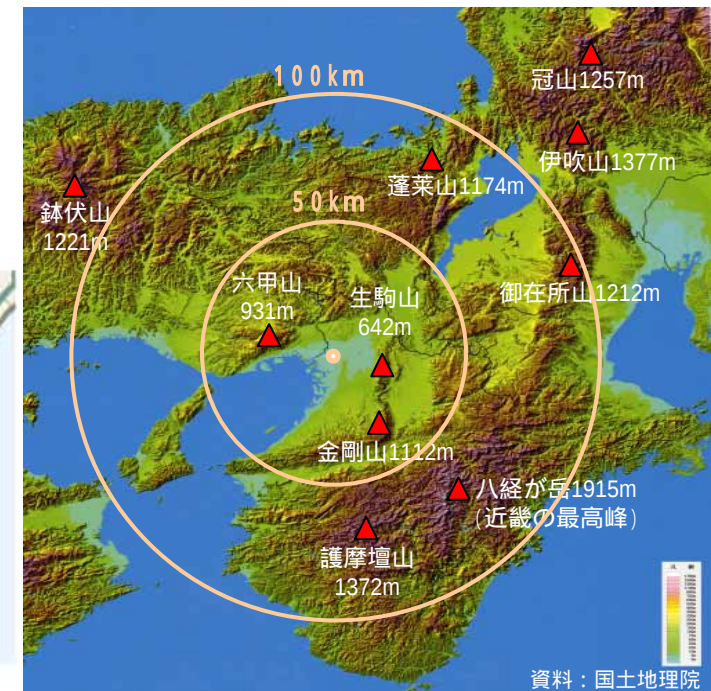
- ・3つの海・琵琶湖
- ・狭い平野、盆地地形が多数存在
(近江盆地、京都盆地、大阪平野、播磨平野、奈良盆地、和歌山平野、…)

近接

多様な都市

- ・狭い平野と盆地に、京都・大阪・神戸など高度に集積

	大阪平野		関東平野
面積	約2,800km ²	1/6	約17,200km ²
人口	約1,200万人	1/3	約3,700万人



戦略・事業・制度等(アイデア)

都市と自然の魅力を同時に享受できる圏域の形成

都市と自然の間のアクセス性の更なる改善

京阪神都市圏と日本海側や紀伊半島を結ぶ
地域間連携交流軸となる交通ネットワークの整備

都市と農山漁村双方の情報を一元的に管理・提供する
ワンストップ窓口の整備

交通ネットワークの整備や労働形態の検討による
二地域居住の推進

大都市

ビジネス機能など
中枢的役割の確保

地方都市

地域の拠点としての
機能強化

農山漁村

多面的機能の保持



かやぶきの里(京都府)

・結婚・就職など居住地を決める若い世代にとって
魅力的な地域づくりが必要。

大都市

ビジネス機能など中枢的役割の確保

大阪都心部に国際ビジネス拠点やにぎわい空間を形成

質の高い住環境の整備

リーバースモーキング制度の推進や住み替え制度による
ニュータウンの再生

地方都市

地域の拠点としての機能強化

都市機能の集積とコンパクトシティの推進

街なか居住の推進等による中心市街地の活性化

市民農園などの都市内の「農」による地域コミュニティの確保

農山漁村

多面的機能の保持

農業ストックの適切な更新・整備による
多面的機能発揮の基礎となる農地の確保

滞在型の余暇活動による里地里山地域の保全再生

都市住民の地域コミュニティの確保への参加による
集落機能の維持・再生

6. 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域

現状・背景

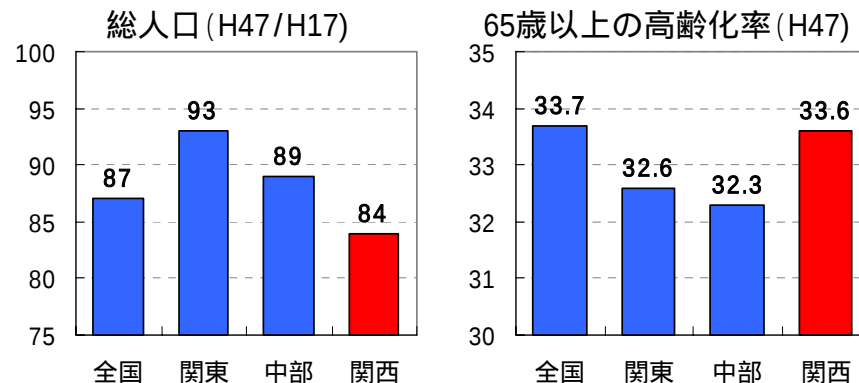
- ・三大都市圏の中でも、人口減少と高齢化が早期に進行
- ・圏域の全ての人々が生き生きと暮らせることは必要不可欠

近畿の目指す姿

- ・各地域が広域的な連携を図ることにより、近畿圏全域が基本的な生活サービス機能を享受できる圏域となる
- ・地域コミュニティの再生により、子育て等の面で多様な主体が地域全体で社会を構築する圏域となる
- ・ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、多様な人々が自由に社会参画し、生き生きと暮らせる圏域となる

少子高齢化の進行が早い近畿

関西は三大都市圏の中で人口減少率と65歳以上人口比率が最も大きい。



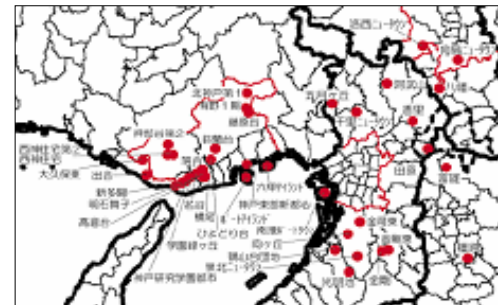
注: 総人口は平成17(2005)年を100として、平成47(2035)年を算出
 出展: 国立社会保障・人口問題研究所資料より作成

どこに住んでも、安心して暮らせる社会

千里ニュータウンのオールドタウン化

- ・日本最初の大規模ニュータウン開発。
- ・まち開き(1962年)から40年以上経過。
- ・人口: 13万人(1975年) → 9万人
- ・高齢化率: 27.5% (吹田市平均17.2%)

近畿圏における大規模開発地の分布 (公的開発)



出典: 「近畿の住宅・住環境ビジョン」近畿地方整備局

医療

防犯

福祉

教育

⋮

自律移動支援プロジェクト

- ・ユビキタスネットワーク環境を構築し、誰もが持てる力を発揮できる社会を実現する。
- ・現在、実証実験中。今後、関西各地に積極的に導入。

[新たな公]
 ・地域コミュニティの再生
 ・コミュニティビジネスの展開

戦略・事業・制度等(アイデア)

どこにいても各種サービスを楽しむ体制の整備

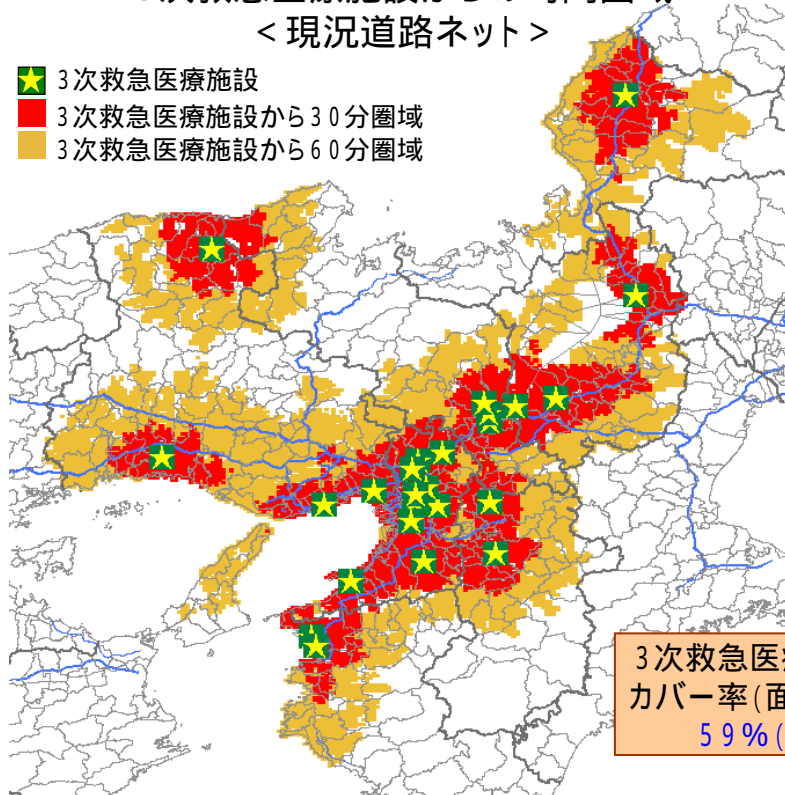
地域間の役割分担による広域的な対応

地域公共交通の再生・活性化による地域の移動手段の確保

ドクターヘリの運用などによる高度・緊急医療体制の構築

3次救急医療施設からの時間圏域 ＜現況道路ネット＞

- ★ 3次救急医療施設
- 3次救急医療施設から30分圏域
- 3次救急医療施設から60分圏域



3次救急医療の1時間
カバー率(面積ベース)
59%(現在)

出典: NITASより作成(道路及び鉄道利用モードで検索)
[現況] 2004年3月末道路ネット、H12国勢調査を基にしたメッシュ人口
[将来] グランドビジョンに示される将来道路を含むネット、人口はH12

ユニバーサルデザインの社会空間の形成

すべての人にわかりやすい移動のための情報提供の統一ルール化

移動空間・建築物内のバリアフリー化の集中的な推進

ハード・ソフトを一体化したユビキタスネットワーク技術を活用した場所情報システム(自律移動支援プロジェクト)



地域コミュニティの再生

団塊の世代の活用による少子化対策

地域コミュニティの拠点整備

7. 産業・暮らしを支える災害に強い安心・安全圏域

現状・背景

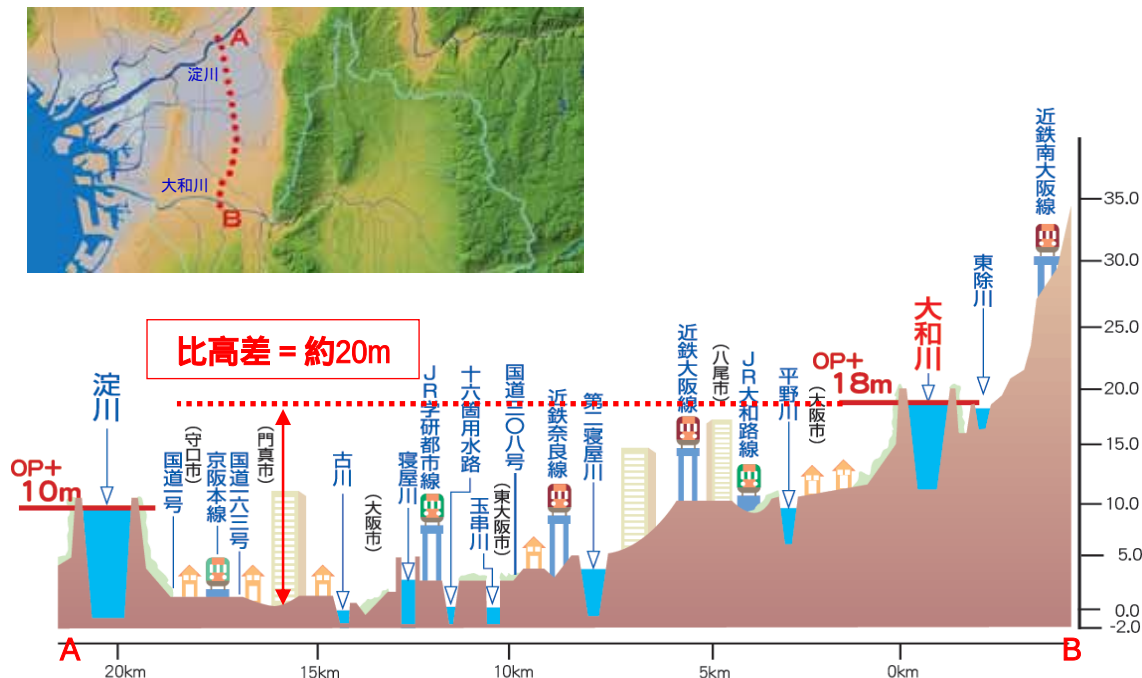
- ・阪神・淡路大震災の経験にともなう高い防災意識と知識・防災関連センター等の集積
- ・広範に広がる京阪神都市地域
- ・ゼロメートル地帯の水害脆弱性
- ・東南海・南海地震等による揺れと津波の対策要
- ・北部に存在する豪雪地帯

近畿の目指す姿

- ・東南海・南海地震等の大規模地震・津波等の自然災害に強く、安心して生活し産業活動ができる圏域となる
- ・防災・減災分野における研究・教育と実務を兼ね備えた、国内及びアジア・太平洋地域に貢献する国際防災拠点となる

近畿圏における自然災害の脅威

大和川・淀川の破堤時等には壊滅的な被害の危険性が高い。



防災分野における国際貢献

防災関連機関の集積(神戸周辺)

- ・国際防災・人道支援協議会
- ・アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)
- ・アジア防災センター
- ・国際エメックスセンター
- ・国際協力機構(JICA) 兵庫国際センター
- ・国際連合 人道問題調整事務所神戸
- ・国際連合 地域開発センター防災計画兵庫事務所
- ・世界保健機関(WHO) 健康開発総合研究センター
- ・地球環境戦略研究機関(IGES) 関西研究センター
- ・日本赤十字社 兵庫県支部
- ・阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
- ・兵庫県こころのケアセンター
- ・兵庫県災害医療センター
- ・防災科学技術研究所 地震防災フロンティア研究センター
- ・防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター

戦略・事業・制度等(アイデア)

自然災害に強い圏域の形成

計画的な市街地の形成や都市基盤施設の耐震化による災害に強い圏域構造の構築

地震・津波対策の着実な推進

風水害対策の着実な推進

複数の公的機関・民間事業者が一体となった広域防災計画や業務継続計画(BCP)の策定

災害時の防災情報が住民に伝わる体制を確立

地域単位での定期的な防災教育・防災訓練の実施

アジア・太平洋地域の国際防災拠点の形成

近畿圏の有する防災に関するノウハウや防災技術を世界へ発信

アジア・太平洋地域での災害発生時に
現地での復興・人道支援やこころのケアの実施

アジア・太平洋国際防災拠点(構想)

平常時

・防災力を高めるため、人材の育成
・防災情報システムの構築

災害発生時

・現地に地震情報を発信
・被災状況の調査

復興時

・救援物資の供給
・生活基盤の整備
・心のケア

東南海・南海地震の津波被害を回避する高規格道路の整備

